



平成24年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年2月9日

上場会社名 藤久株式会社 上場取引所 東・名
コード番号 9966 URL <http://www.fujiky-corp.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 後藤 薫徳
問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長兼経営企画室長 (氏名) 佐藤 哲雄 (TEL) 052-774-1181
四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日 配当支払開始予定日 平成24年3月1日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年6月期第2四半期の業績(平成23年7月1日～平成23年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年6月期第2四半期	10,739	2.5	207	24.0	272	15.8	47	—
23年6月期第2四半期	10,482	△0.8	167	△19.0	235	△13.5	△43	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年6月期第2四半期	11 19	—
23年6月期第2四半期	△10 38	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年6月期第2四半期	17,828	12,332	69.2
23年6月期	17,073	12,371	72.5

(参考) 自己資本 24年6月期第2四半期 12,332百万円 23年6月期 12,371百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年6月期	—	20 00	—	20 00	40 00
24年6月期	—	20 00	—	—	—
24年6月期(予想)	—	—	—	20 00	40 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年6月期の業績予想(平成23年7月1日～平成24年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,921	5.1	1,160	31.5	1,270	24.1	235	△16.1	55 90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

24年6月期2Q	5,505,000株	23年6月期	5,505,000株
----------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数

24年6月期2Q	1,300,172株	23年6月期	1,300,172株
----------	------------	--------	------------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

24年6月期2Q	4,204,828株	23年6月期2Q	4,204,828株
----------	------------	----------	------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
4. 補足情報	8
事業部門別・商品区分別売上高等の状況	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間における店舗展開につきましては、新規出店では手芸専門店「クラフトハートトーカイ」は出店基準を多様化して積極的に推進し24店舗を開設、生活雑貨専門店「サントレーム」は5店舗の合計29店舗を開設しました。退店では「クラフトハートトーカイ」5店舗、「クラフトパーク」1店舗及び「サントレーム」1店舗の合計7店舗（うち、スクラップ&ビルドによる退店5店舗）を実施しました。この結果、当第2四半期会計期間末の総店舗数は、前事業年度末比22店舗の純増を達成し419店舗となりました。

店舗販売部門につきましては、手芸専門店における店舗内ソーイングスクールの開講を前事業年度末比12店舗増の73店舗に拡大するとともに、スクール受講者数の増加に努めました。また、東北地区においては、震災により休業した2店舗を営業再開するとともに、新規出店の開発に努めて2店舗を宮城県内に出店しましたほか、既存店では復興需要に対応した品揃えを強化しました。生活雑貨専門店では、時季に応じた提案商品によるキャンペーンを追加実施するなど、販売促進活動の強化に取組みましたほか、美容・健康関連商品の新規取扱いの拡充を図りました。当部門の店舗売上高は、全業態既存店ベースで前年同四半期比1.5%の減収となりましたものの、積極的な新規出店が寄与し、全業態全店ベースでは前年同四半期比2.4%の増収となりました。

通信販売部門につきましては、手芸用品のネット通販サイトにおける知名度の向上及びアクセス数の増加に努めるとともに、生活雑貨のネット通販サイトにおいては、店舗販売部門での売れ筋情報の活用等を継続実施しました結果、衣料品の売上高は前年同四半期を下回りましたものの、手芸用品及び生活雑貨が上回り、当部門の売上高は前年同四半期比5.3%の増収となりました。

その他の部門は主に不動産賃貸収入であり、売上高は前年同四半期比8.0%の減収となりました。

これらの結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高は107億39百万円（前年同四半期比2.5%増）、営業利益は2億7百万円（前年同四半期比24.0%増）、経常利益は2億72百万円（前年同四半期比15.8%増）、四半期純利益は47百万円（前年同四半期43百万円の四半期純損失）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ7億54百万円増加し、178億28百万円となりました。流動資産は6億70百万円増加し、固定資産は84百万円増加しております。流動資産の増加は、主に商品が4億63百万円、現金及び預金が1億49百万円とそれぞれ増加しましたことによるものであり、固定資産の増加は、主に差入保証金が40百万円減少しましたものの、リース資産が1億22百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期会計期間末における負債は、前事業年度末に比べ7億93百万円増加し、54億95百万円となりました。流動負債は7億8百万円増加し、固定負債は85百万円増加しております。流動負債の増加は、主に支払手形及び買掛金が7億75百万円増加したことによるものであり、固定負債の増加は、主にリース債務が86百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末に比べ38百万円減少し、123億32百万円となりました。主に利益剰余金が37百万円減少したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べ1億49百万円増加し、49億49百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、4億2百万円（前年同四半期は2億28百万円の支出）となりました。主なプラス要因は、仕入債務の増加額7億75百万円、税引前四半期純利益2億41百万円、減価償却費1億39百万円であります。主なマイナス要因は、たな卸資産の増加額4億61百万円、法人税等の支払額1億85百万円、営業未収入金の増加額76百万円、未払消費税等の減少額54百万円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、1億8百万円（前年同四半期は48百万円の支出）となりました。これは、有形固定資産の取得による支出82百万円、無形固定資産の取得による支出14百万円、資産除去債務の履行による支出12百万円、有形固定資産の売却による収入1百万円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、1億44百万円（前年同四半期は1億20百万円の支出）となりました。これは、配当金の支払額84百万円、リース債務の返済による支出60百万円であります。

（3）業績予想に関する定性的情報

当社の事業を取り巻く社会経済環境は依然として厳しく、当第2四半期累計期間の業績予想につきましては、差異が生じる結果となりました。これにより、当社では、当第2四半期累計期間における業績の実績を勘案するとともに、通期につきましても第3四半期以降における出店計画等の変更を踏まえて、平成23年11月10日第1四半期決算短信において公表しました業績予想を修正しました。

なお、当第2四半期累計期間の業績予想との差異及び通期業績予想は、本日（平成24年2月9日）別途開示しました「第2四半期業績予想との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年6月30日)	当第2四半期会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,879,937	5,029,429
受取手形及び売掛金	84,546	82,242
商品	5,379,401	5,842,866
貯蔵品	1,846	343
その他	1,092,961	1,154,688
貸倒引当金	△2,470	△2,763
流動資産合計	11,436,223	12,106,807
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	848,059	867,136
土地	1,660,806	1,660,806
リース資産(純額)	373,457	496,410
その他(純額)	74,302	84,227
有形固定資産合計	2,956,625	3,108,581
無形固定資産	99,373	81,322
投資その他の資産		
差入保証金	2,234,430	2,194,142
その他	346,675	337,460
貸倒引当金	△18	△8
投資その他の資産合計	2,581,088	2,531,595
固定資産合計	5,637,088	5,721,498
資産合計	17,073,311	17,828,306

(単位:千円)

	前事業年度 (平成23年6月30日)	当第2四半期会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,988,294	2,764,154
リース債務	103,549	141,597
未払法人税等	209,940	193,828
未払消費税等	89,522	34,968
賞与引当金	37,758	35,975
ポイント引当金	321,238	323,804
資産除去債務	13,303	15,280
その他	828,982	791,500
流動負債合計	3,592,588	4,301,108
固定負債		
リース債務	277,494	363,889
役員退職慰労引当金	157,290	163,152
資産除去債務	291,130	297,243
その他	383,368	370,128
固定負債合計	1,109,282	1,194,414
負債合計	4,701,871	5,495,523
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,375,850	2,375,850
資本剰余金	2,526,080	2,526,080
利益剰余金	9,940,254	9,903,207
自己株式	△2,470,574	△2,470,574
株主資本合計	12,371,609	12,334,562
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△169	△1,779
評価・換算差額等合計	△169	△1,779
純資産合計	12,371,440	12,332,783
負債純資産合計	17,073,311	17,828,306

(2) 四半期損益計算書
第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年12月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年12月31日)
売上高	10,482,650	10,739,982
売上原価	4,020,653	4,186,224
売上総利益	6,461,997	6,553,758
販売費及び一般管理費	6,294,541	6,346,137
営業利益	167,456	207,620
営業外収益		
受取利息	1,416	1,192
受取配当金	576	532
協賛金収入	23,226	29,222
受取手数料	11,437	9,729
仕入割引	22,416	17,650
その他	12,739	12,152
営業外収益合計	71,812	70,480
営業外費用		
支払利息	2,698	4,389
リース解約損	—	105
減価償却費	884	826
その他	594	596
営業外費用合計	4,177	5,917
経常利益	235,090	272,183
特別利益		
固定資産売却益	566	843
違約金収入	3,300	—
特別利益合計	3,866	843
特別損失		
固定資産売却損	—	99
固定資産除却損	6,841	2,096
減損損失	7,195	14,699
店舗閉鎖損失	13,937	13,377
投資有価証券評価損	—	900
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	158,759	—
特別損失合計	186,734	31,174
税引前四半期純利益	52,222	241,851
法人税、住民税及び事業税	105,955	170,613
法人税等調整額	△10,087	24,189
法人税等合計	95,868	194,802
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△43,645	47,049

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年12月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	52,222	241,851
減価償却費	109,888	139,888
減損損失	7,195	14,699
賞与引当金の増減額(△は減少)	△3,698	△1,783
ポイント引当金の増減額(△は減少)	3,015	2,566
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△46,947	5,862
貸倒引当金の増減額(△は減少)	302	283
受取利息及び受取配当金	△1,993	△1,725
支払利息	2,698	4,389
固定資産売却損益(△は益)	△566	△743
固定資産除却損	6,841	2,096
投資有価証券評価損益(△は益)	—	900
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	158,759	—
売上債権の増減額(△は増加)	1,571	2,304
たな卸資産の増減額(△は増加)	△357,928	△461,963
営業未収入金の増減額(△は増加)	△86,124	△76,994
差入保証金の増減額(△は増加)	76,877	44,915
未払消費税等の増減額(△は減少)	△28,498	△54,553
仕入債務の増減額(△は減少)	299,694	775,859
未払金の増減額(△は減少)	△103,382	△35,141
その他	4,350	△10,642
小計	94,279	592,071
利息及び配当金の受取額	738	597
利息の支払額	△2,698	△4,389
法人税等の支払額	△320,521	△185,615
営業活動によるキャッシュ・フロー	△228,201	402,663
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△45,223	△82,649
有形固定資産の売却による収入	1,400	1,770
無形固定資産の取得による支出	△4,846	△14,560
資産除去債務の履行による支出	—	△12,829
投資活動によるキャッシュ・フロー	△48,669	△108,268
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△36,326	△60,807
配当金の支払額	△84,096	△84,096
財務活動によるキャッシュ・フロー	△120,422	△144,903
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△397,294	149,491
現金及び現金同等物の期首残高	4,535,025	4,799,937
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,137,731	4,949,429

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

事業部門別・商品区分別売上高等の状況

① 事業部門別売上状況

区分	前第2四半期累計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年12月31日)		当第2四半期累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年12月31日)		(参考)前事業年度 (平成23年6月期)	
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)
店舗販売部門	10,011,535	95.5	10,247,697	95.4	20,867,671	95.7
通信販売部門	444,152	4.2	467,478	4.4	881,682	4.1
その他の部門	26,963	0.3	24,806	0.2	52,958	0.2
合計	10,482,650	100.0	10,739,982	100.0	21,802,312	100.0

(注) 1 「その他の部門」は、主に不動産賃貸収入であります。

2 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

② 商品区分別売上状況

区分	前第2四半期累計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年12月31日)		当第2四半期累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年12月31日)		(参考)前事業年度 (平成23年6月期)	
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)
毛糸	833,723	8.0	815,351	7.6	1,489,491	6.8
手芸用品	3,171,989	30.3	3,096,981	28.8	6,275,905	28.8
生地	2,266,819	21.6	2,420,692	22.5	5,055,131	23.2
和洋裁服飾品	2,669,397	25.5	2,917,665	27.2	5,840,957	26.8
衣料品	361,785	3.4	331,119	3.1	682,507	3.1
生活雑貨	880,897	8.4	868,025	8.1	1,849,361	8.5
その他	298,037	2.8	290,146	2.7	608,957	2.8
合計	10,482,650	100.0	10,739,982	100.0	21,802,312	100.0

(注) 1 「その他」は、主に会員制による入会金の収入であります。

2 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

③ 業態別店舗数の状況

区分	前第2四半期累計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年12月31日)			当第2四半期累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年12月31日)			(参考)前事業年度 (平成23年6月期)		
	出店	退店	四半期末	出店	退店	四半期末	出店	退店	期末
クラフトハートトーカイ	10	4	316	24	5	343	26	12	324
クラフトワールド	—	1	3	—	—	2	—	2	2
クラフトパーク	—	—	43	—	1	40	—	2	41
クラフトループ	—	—	5	—	—	5	—	—	5
サントレーム	—	1	23	5	1	29	2	1	25
合計	10	6	390	29	7	419	28	17	397

(注) 「クラフトハートトーカイ」、「クラフトワールド」、「クラフトパーク」及び「クラフトループ」は手芸・クラフト専門店であり、「サントレーム」は生活雑貨専門店であります。